

昨年10月から11月にかけて開催された「第55回静岡県高等学校男子・女子新人ソフトボール大会」で見事優勝し、2年ぶり8度目となる「全国高等学校ソフトボール選抜大会」へ出場した掛川東高校女子ソフトボール部。同部を攻守にわたりけん引し、県大会優勝の原動力となったのが2年の大杉菜々さん(佐倉三区)だ。

菜々さんは、小学生の時にテレビでプロ野球を観て格好良いと思い、友だちとソフトボールをやるようになった。本格的にソフトボールを始めたのは中学の部活動からで、メキメキと頭角を現し、2年時には県選抜選手にも選ばれた。高校は県内でも有数のソフトボール強豪校である掛川東高校へ進学。そこでも1年春から正捕手、打順も1番か3番と存在感を放った。「中学生の時はただ打って守ると感じていたが、今は戦術など頭を使ってプレーすることが楽しいです。キャッチャーは、他のポジションの人に指示を出さなくてはいけないので大変なポジションですがやりがいがあります」と心強い一面も見せる。

Pick Up Dreamer

掛川東高等学校 2年

# 大杉菜々

Nana Osugi

## 全国で戦えるチームを目指す

**初の全国も物おじせず**

県新人大会では強豪校との対戦に緊張を覚えたが、3月に開かれた全国大会は「緊張よりこれまで練習してきたことが全国で通用するか試せることが楽しみだった」と話す菜々さん。結果は2回戦敗退。「相手があるスポーツなので思うようにプレーさせてもらえないのが当たり前。自分たちの力を出し切れなかったことが一番の敗因です。県大会と空気が全然違いました。この経験を次に生かしていくしかない」と振り返った。

**全国出場は当たり前**

同部は、能力の高いチームに対してチーム力で勝つことをモットーにレギュラー外のメンバーを含めたチーム全員で勝利を目指す。菜々さんは夏のインターハイに向けて、「優勝校の自分たちが県予選で勝つことは当たり前。全国で戦えるチームを目指して掛川東らしいソフトボールで一戦必勝していきたい」と決意を新たにす。2カ月後に迎える現チームでの最終戦。チームらしさで勝ち進む大会の結果が楽しみだ。